



ふれあい

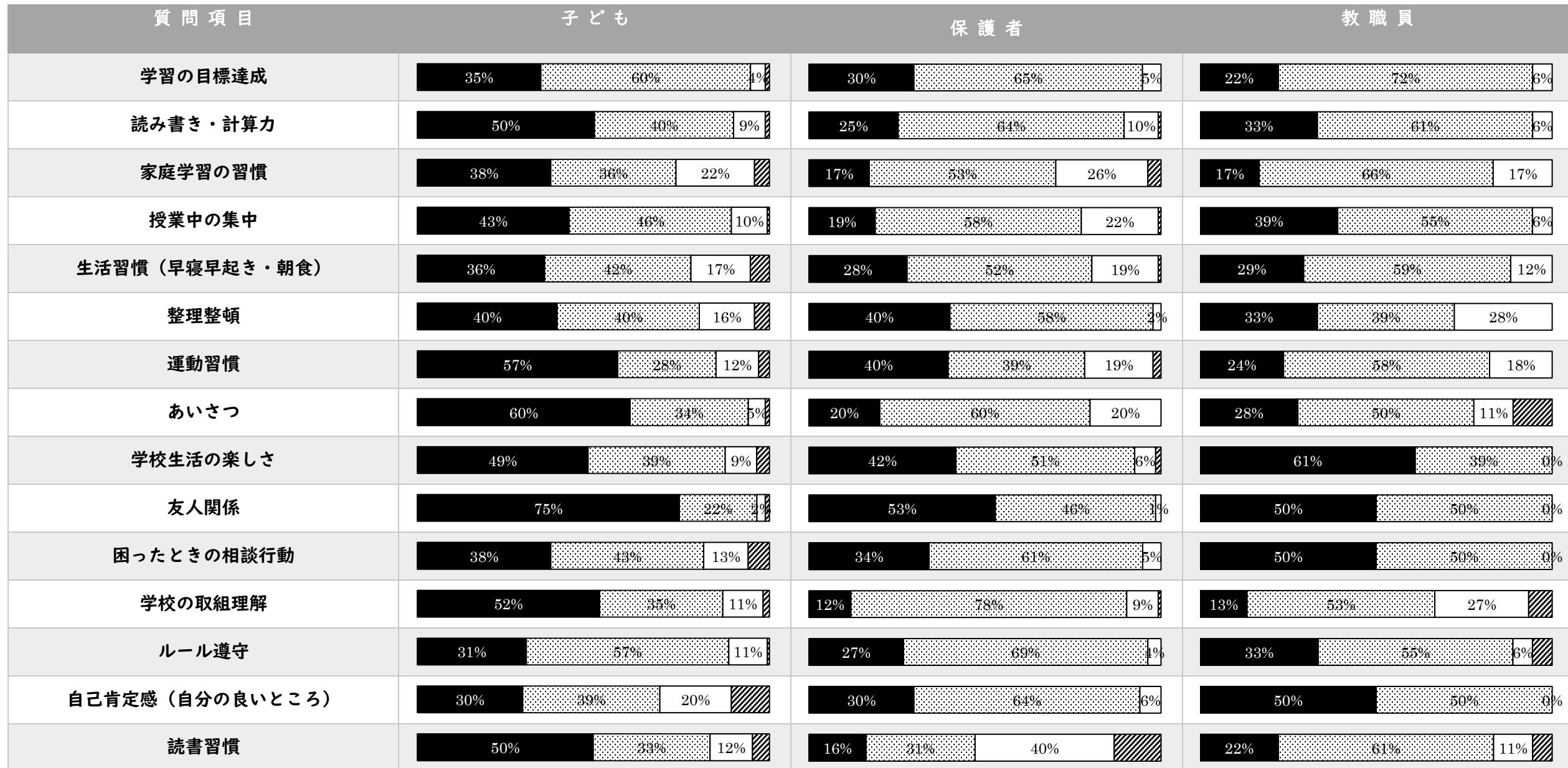
令和8年2月吉日
京都市立第三錦林小学校
校長 吉岡 健一郎

後期学校評価（12月）の結果より

平素は本校教育活動にご理解・ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

さて、保護者の皆様にはお忙しい中、2回目のアンケートの回答にもご協力いただきありがとうございます。その結果をお知らせいたします。

前回と同様に、学校評価を保護者の皆様と子どもたち、教職員に実施いたしました。私たちは保護者の皆様からいただきました学校評価と児童の自己評価を通して、自分たちの日頃の取組を見直すきっかけにするとともに、保護者・地域の皆様と一緒に、よりよい教育のあり方を探っていきたいと考えています。今回は、12月の結果をお伝えするとともに、結果から見えてくる課題について分析し、今後の取組に生かしていきたいと思います。



…よくできている

…大体できている

…あまりできていない

…できていない

児童アンケートについて、本年度前期と比較した結果

1. がんばりが光ったところ

- ・ あいさつができるようになってきた
- ・ 運動に意欲的に取り組む姿
- ・ 読み書き・計算など基礎学力への自信
- ・ 「学校が楽しい」と感じている子が多い

明るく前向きな気持ちで学校生活に臨む子が増えています。ご家庭の声かけの力も大きく、心より感謝いたします。

2. 後期にやや低下したところ

- ・ 早寝・早起き・朝ごはんの習慣
- ・ 授業中の集中
- ・ 学校・家庭のルールを守る姿
- ・ おたよりを家の人に渡す習慣
- ・ 困ったときに先生や家族に相談する行動

学期後半の疲れや、生活リズムの乱れが影響していると考えられます。

3. おうちでご協力いただきたいこと(3つだけ!)

① 生活リズムを整えましょう

- ・ 目安:就寝 21:00~21:30 / 起床 6:30前後
- ・ 週末も就寝・起床時刻が大きくズれないように
- ・ 朝ごはんは「主食+たんぱく質」を意識(例:ごはん+みそ汁+卵など)

② おたよりチェックの習慣を

- ・ 週1回の「おたより確認タイム」を
- ・ 連絡帳やクリアファイルを“必ず出す場所”を固定化
- ・ 保護者サイン欄があるおたよりは、提出前に一緒に確認

③ 子どもが相談しやすい雰囲気づくり

- ・ 「困ったら言ってね」「小さなことでも聞くよ」の一言を
- ・ 否定せず、まずは最後まで聞く
- ・ 学校にも気軽にご相談ください

～自由記述から～

☆学年によってホームページの更新される量に差がある。給食の情報や他の学年の活動を見るのも好きですが自分の子の学年の活動も見たい。

★いつもホームページをご覧いただきありがとうございます。どの学年も更新頻度が上がるよう、努力して参ります。1月よりホームページのデザインが新しくなりました。これを機にぜひご覧ください。

☆算数セット等の学用品は使用しない学年になれば、各家庭に呼びかけて回収し、新入生に貸し出してほしい。

★本年度PTAの呼びかけて、学用品のリサイクルもスタートしております。先日の入学説明会では早速時計や数図ブロックを提供できました。ぜひご協力をお願いします。

保護者アンケートについて、本年度前期と比較した結果

1. よい変化が見られた点

- ◆ 学習の定着や学校生活への安心感
 - ・ 学んだことが身についている → +3.4 ポイント(肯定率の上昇)
 - ・ 家庭や学校のルールを守っている → +2.9 ポイント
 - ・ 学校に行くのが楽しいと言っている → +2.6 ポイント
- ◆ 学校の取組が伝わっている
 - ・ ホームページ・学年(学級)だより等で学校の取組を理解できている → +2.4 ポイント
 - ・ 情報発信の工夫が、皆さんに届いていることがうかがえます。
- ◆ 挨拶などの生活面
 - ・ 自分から進んで挨拶をしている → +2.0 ポイント
 - ・ 日頃の声かけや学校の取組が実を結んでいます。

2. 後期にやや低下した点

- ◆ 家庭での生活リズム
 - ・ 早寝・早起き・朝ごはんの習慣 → -7.4 ポイント(否定的回答は+6.4 ポイント)
 - ・ 季節の変わり目や行事の増加による生活リズムの乱れが影響したと考えられます。
- ◆ 家庭学習の習慣
 - ・ 家庭学習が身についている → -4.0 ポイント(否定的回答は+3.0 ポイント)
 - ・ 特に中学年・高学年に課題が見られました。
- ◆ 読書習慣
 - ・ 読書に親しんでいる → -7.6 ポイント(否定的回答は+6.6 ポイント)
 - ・ 全般的に読書量が減る傾向がみられ、学年を問わず課題といえます。

3. 学校としての考察

アンケート結果から、

- ・ 学校での学習・生活に関する評価は全般に改善
- ・ 家庭での生活習慣・学習習慣に課題が見られるという傾向が見られました。

学校生活そのものについては、子どもたちの「楽しさ」や「できるようになってきた」という感触が高まり、保護者の皆さまが学校の取組を理解してくださっている点も心強く感じております。

一方で、生活リズム・家庭学習・読書など、ご家庭と学校が力を合わせて育んでいく部分については、引き続きのサポートが必要であると受け止めております。

4. おわりに

今回のアンケートから、子どもたちの学習面・生活面での前向きな成長が確認できました。これは、日頃よりご家庭で温かく見守っていただいている賜物です。心より感謝申し上げます。

一方で、家庭学習や生活リズム、読書習慣など、学校とご家庭が一緒に取り組むことでよりよい方向へ改善できる部分も明らかになりました。今後も、学校と家庭が力を合わせて、子どもたちが健やかに成長していけるよう努めてまいります。